



Feng-Shui Gallery

special edition vol.28

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『和室 vol.2』

【写真1】 琉球畳を用いた、とてもシンプルな和室。黄色い塗り壁の仕上げと、自然素材のロールスクリーンが空間に温かみをもたせています。
【写真2】 窓の位置と形がアクセントとなっている和室。色彩は少ないですが、とても落ち着いた雰囲気のある空間となっています。このような空間では、床の間に色彩の鮮やかな生花を飾ったりすることで、空間のイメージがぐっと華やかになります。**【写真3】** 壁のブラケット照明とえんじ色のシェードカーテンがポイントとなっている和室。一見洋風の空間ですが、床の琉球畳のデザインと相まって、ぬくもりとくつろぎ感のある空間に仕上がっています。**【写真4】** 丸い自然素材のペンダント照明と、壁面上部の丸窓が印象的な和室。傾斜のあるスロープ天井が空間に広がりを与えています。また窓の位置を仏間や神棚の近くにする事で自然光が程よく降り注ぎ、暗いイメージになりがちな空間を心地よいイメージに変える動きを果たしています。



【大写真】 一見シンプルですが、床の間の朱色の壁紙がとても目を引くデザインの和室。アクセントカラーを用いることで視線を集め、空間のエネルギーも高まります。

照明や壁紙で空間にアクセントをつけることで、シンプルなデザインの和室も、エネルギーを高められる。

和室は、その使用目的や仕上げ素材の雰囲気から、シンプルすぎても、少し寂しい感じのする、エネルギーが低い空間になりがちです。

そのような場合には、壁紙の一面にアクセントカラーを用いたり、照明器具や窓面のシェードカーテンやロールスクリーンで色彩を取り入れることで空間のエネルギーを高めることが可能です。

和風の雰囲気にも合うような、織物柄や自然素材のものをつかったり、色だつと朱色やえんじ色を用いると、視線が自然とひきつけられ、そこにエネルギーが発生すると考えられます。

また照明の明かりも、蛍光灯の白い光ではなく、電球色で柔らかく光る、白熱灯の器具を選定すると良いでしょう。和風の照明器具は、和紙や漆などの自然素材で作られたものが多く、それらを用いるだけで空間のイメージを変えることができます。

最近では緑なしの畳（琉球畳）を使用する住宅も増えました。この畳を用いると、とてもスッキリとした、洋室のようなイメージで空間を構成することが可能です。生活様式が変化する現代、住宅のレイアウトや設置する家具・照明などに合わせて畳を選び分けることで、他の部屋とのバランスをとったりすることも可能となります。